

2024年2月5日
東日本電信電話株式会社
北海道事業部

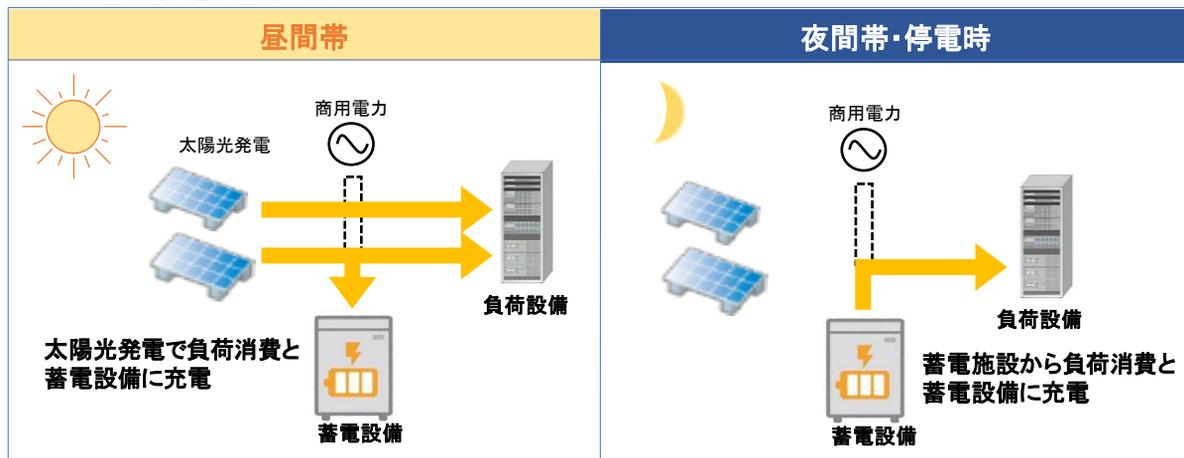
再生可能エネルギー100%通信局舎の運用開始 ～再生可能エネルギーを活用した電力ビジネスの取り組み～

東日本電信電話株式会社 北海道事業部(執行役員 北海道事業部長: 島津 泰、以下「NTT東日本」)は、2040年度までに使用電力を100%再生可能エネルギー化する「NTTグループの新たな環境エネルギービジョン」の達成に向け、通信局舎照明のLED化や装置集約等による消費電力量の低減に取り組んでいます。

この度、運用開始した函館市内の戸井ビルは、太陽光発電設備に加え蓄電設備を導入することで、夜間や災害時の給電を可能としており、地産地消型による再生可能エネルギー100%通信局舎※を実現します。

※天候、日照条件によっては再生可能エネルギー100%とならない場合があります。

<戸井ビル給電の仕組み>



NTT東日本グループは、再生可能エネルギーを活用した通信基盤の整備を進めるとともに、ゼロカーボンシティの実現に積極的に取り組みます。また、これまで通信で培ったノウハウを最大限に活用し、PPA(Power Purchase Agreement)やエネルギーマネジメント等、再生可能エネルギー事業に参入し、地域のエネルギー循環型社会の実現に貢献します。

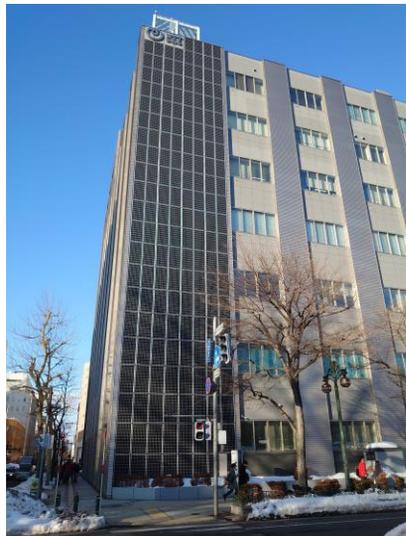
<NTT東日本の取り組み(イメージ)>



<再生可能エネルギー活用事例(北海道内)>

設置場所	太陽光発電容量	運用開始
札幌1外ビル(北海道札幌市)	32KW	2013年 6月
西達布ビル(北海道富良野市)	5KW	2022年10月
東山ビル(北海道富良野市)	5KW	2023年10月
麓郷ビル(北海道富良野市)	5KW	2023年10月
戸井ビル(北海道函館市)	31KW	2024年 1月

<札幌1外ビル>



<西達布ビル>



<東山ビル>



<麓郷ビル>

